

大 塚 人

2002-36

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

<発行所>
福岡大学附属 大濠高等学校同窓会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号
同窓会事務局 / TEL・FAX 092-714-1681
発行人 安藤文六
編集人 平島文憲
<印刷> 福博総合印刷株式会社



福井良(3年)夏、能代工戦

準優勝を勝ち獲る

バスケットボール部

— インターハイに続き
ウィンターカップも —

新世紀 新生 大濠



大濠高等学校
同窓会会長
安藤 文六

大濠高校同窓生の皆さん、お元気でお過ごしのことと存じます。昨年、二十一世紀の幕開けの年でしたが、

米国における同時多発テロとそれに続く戦争によって世界中の人々が胸を痛めました。二十世紀は「戦争の世紀」と呼ばれましたが、あの事件が二十一世紀を象徴するものでないことを祈る気持ちでいっぱいです。世の中のあらゆる既存の価値観が崩壊してゆく今日の混迷せる状況において、我々は何に依拠し、アイデンティティを持ち得るでしょうか。大濠高校が我々の心のふるさとであり、大濠高校同窓会が会員の皆さまの背すじに力を与えんことを切に願う次第であります。

さて母校大濠高校は新世紀を迎え、大きな転換点にあります。平成八年に新設になった大濠中学校から高校に進学した中高一貫生がこの三月一日にめでたく卒業します。教育の荒廃著しく、学級崩壊などと叫ばれ、日本の教育そのものが危機的状況を呈した昨今、教育改革という名のもとに、様々な施策が行われています。現政権の構造改革の柱のひとつでもあります。そのような中、発展著しい大濠高校の姿を見るにつけ、青木校長先生をはじめとする教職員の皆さまの御苦勞を思わずにはられません。大濠高校はエネルギーで満ち溢れています。六百余名の元気ある若者達が新たに母校を巣立ちます。そして我々同窓生の仲間入りです。「卒業おめでとう。そして同窓会へようこそ」。卒業生諸君が胸を張り、自信と誇りを持って今後の人生を送っていかれることを願ってやみません。そしてこの同窓会の固い絆のひとりとなる歓喜を味わってほしいと思います。

昨年発足いたしました母校支援の「特別会員」制度ですが、多くの同窓会員の賛同を得まして、たいへん立派な立ち上げとなりました。母校の「文武」を両面にわたって支援してゆくこの流れが更に発展し、新生大濠が「元気のある進学校」として、その名が全国に響き渡らせることが我々の願いであり、生きる力を与えてくれるものと固く信じます。

最後になりますが、各回の幹事の皆さん、各回生のとりまとめ御苦勞のことと存じます。各回の組織の充実こそが、同窓会全体の力になるのは明々白々です。今後ともよろしく御願いたします。五月第三土曜日ニューオータニでの同窓会総会を成功させましょ。う。